



自信と誇りを培う教育の推進

東根市立第三中学校

学校だより

令和7年度 第11号  
(令和8年2月19日)

## 令和8年度の教育課程について「主体的な学び」の実現をめざして

～部活動の地域展開と三中生が伸びる教育課程の実現をめざして～ 校長 竹内 齊

令和7年度(今年度)の教育課程について、生徒の授業時間(学力)、部活動や生徒の諸活動の時間、教職員の働き方のすべてを犠牲にしない取り組みの実現を目指に、授業時間を標準として示されている50分から45分に短縮し、その代わりに週30コマの授業を実施する教育課程を実施し、部活動の実施時間を令和6年度までとほぼ同じ時間を確保しながら、教職員の勤務時間内に生徒の活動を終了させる取り組みを実施いたしました。※東根三中教職員の勤務時間は、8時10分～16時40分です。



来年度からは、東根市の部活動方針に則り、市内各校で足並みを揃えて、部活動の活動時間は平日の60分以内となり、休日は計画しないこととなります。(地区・県等の中体連主催の大会は顧問の引率となります。) そこで、以下の教育課程を実施して三中生の多様なポテンシャルを伸ばし、主体的に学ぶ力を高め、深い学びを実装していきたいと考えております。御理解と御協力をお願いいたします。

### ○50分授業の実施(50分×29時間の週時程 = 学習指導要領の標準で実施)

令和7年度に45分の授業時間で取り組んできた成果を生かし、+5分の時間を生かして生徒の力を伸ばします。具体的には、①授業内容を振り返る時間の設定、②知識・技能の定着の時間としての活用、③思考力・判断力・表現力を高める時間を今年度よりも多く確保すること等に活用したり、④家庭での学習へのつなぎをつくり、意欲を高めることに活用したりして、主体的に学ぶ力を伸ばし、深い学びを実装し、学力の向上につなげていきます。今年度と比較で、週当たりの授業時間が100分増となります。

### ○週計画の中に、振り返りの時間、柔軟に使用できる時間を創設

三中リフレクションタイム=「SRT」、三中フレキシブルタイム=「SFT」の二つの時間を設定。週当たり合計50分の裁量の時間を創設。こちらも、学習内容の振り返りや、知識・技能の定着、思考力・判断力・表現力の育成に活用し、生徒が主体的に学ぶ力を伸ばすための土台作りをして、学力の向上につなげていきます。

☆毎時間の授業のプラス5分と、SRT、SFTの時間を合計すると週当たり150分生徒と教師がともに学びに向かう時間が増えます。この時間を有効に活用します。

### ◇校長授業3 「人はなぜ学ぶのか 人はなぜ仕事をするのか」 1月14日実施

人はなぜ学ぶのか?について、「数学」を学ぶ理由から考えました。数学は、ただ計算や図形の操作等を目的にしているように感じるが、実は論理的な課題解決方法の練習を行う教科であることを、いくつかの演習をもとに、感じて欲しいと考えて授業を行いました。例えば、 $1+1=2$ という数式は、二進法では成り立たないことから、算数・数学は全て約束の世界であることや、論理性が弱いと、場面によっては原因があって結果につながっていく理解が難しくなり、実生活でも不都合や不利益が生じる可能性があることを確認しました。そして、林修さんが番組で紹介していた「数学的に考えることは人生でやりたいことの実現にプラスに影響する」という、内容を伝



えました。人はなぜ仕事をするのか？については、漫画のキャラクターの言葉「仕事しかない人生」だった…そんなふうに思って死ぬのはごめんです」と「私は仕事したなーって思って死にたい」という二つの立場の考え方や、古今東西の多様な立場の人物の仕事観を紹介したあと、一人一人に考えをまとめてもらいました。「学ぶこと・仕事をすること」について考えを深める時間となりました。

## 三学期始業式より(1/7)

～三学期に頑張りたいこと～

1年生代表 ○○○○

僕が三学期頑張ることは三つあります。一つ目は勉強です。二学期を振り返ると、授業や家庭学習では自主的に集中して取り組みました。一方でテスト前学習では、ほっとノートやワークで復習をしたけれど、あまりよい点を取ることができませんでした。三学期は自分の苦手な教科を中心に日々のほっとノートで復習していきます。二つ目は部活動です。冬練習に入り、夏の練習に比べてきついと感じる練習内容になりました。コーチからは「どれだけ自分を追い詰められるかが大事だ。」と言われました。指示を受けたらすぐに動いて練習をする時間を増やして取り組めるようにしていきます。そして、地区中総体で優勝できるように頑張ります。三つ目は委員会活動です。後期も前期と同じ給食委員となりました。初めて委員になった人にわからないことを教え、自分がリードしていきます。学年リーダーとして皆に声をかけ、配膳を早く終えて、給食をゆっくりと安全に食べられるように頑張ります。三学期は、一年生最後の学期になるので、悔いが残らないように、以上三つにしっかりと取り組んでいきます。



2年生代表 ○○○○

三学期に頑張りたいことが三つあります。一つ目は学力向上、特に期末テストへの取り組みです。一、二学期は得意な数学で良い結果が出せましたが、三学期はさらに上を目指します。苦手な国語と英語については、漢字や単語の暗記に加えワークを繰り返し解いて、文の仕組みをしっかり理解したいです。テスト前だけでなく、日々の授業から真剣に取り組みます。二つ目は野球部の活動です。6月の地区中総体で優勝するため三つの課題に取り組みます。バッティングや守備の土台となる「下半身トレーニング」を諦めずにやり遂げること。送球ミスをなくすために「キャッチボール」を丁寧に行いながらも投げられるようにすること。飛距離を伸ばすためにトスバッティングなどの打ち込みを徹底することです。三学期は短いです。その時だけ頑張るのではなく、コツコツと努力を積み重ねていきます。



3年生代表 ○○○○

いよいよ中学校生活最後の学期になりました。特に頑張りたいことは二つあります。一つ目は受験勉強です。私は一日の勉強時間が少なく、分からない問題をそのままにしてしまい、同じ間違いを繰り返していました。三学期は、授業で大事な語句やポイントをメモし、その日のうちに復習します。また、分からない問題を先生や友達に理解できるまで教えてもらい、一日4時間以上毎日勉強に励んでいきます。時間をきちんと決めて、集中して取り組むことも意識したいです。受験は三年間勉強した力を発揮する集大成です。志望校合格に向けて基礎を重点的に固めしっかり身に付けていきます。クラス全体で応援し合える環境をつくっていきたいです。二つ目は、友達との時間を大切にすることです。毎日受験勉強に追われる日々の中で、卒業まで残り3ヶ月になりました。高校に進学したら会うのが難しくなったり、話すことが少なくなった友達が多くなると思います。だから、楽しかった思い出もそうではない思い出も中学校でしかできないプラスの経験と捉えて心に残していきたいです。志望校合格に向かって受験勉強と、友達との時間の両方を充実させ、大切にし、悔いの残らない三学期にしていきたいです。



## 三中の多方面での活躍紹介

～たくさんの分野で大活躍～

文化面・大ケヤキ書道絵画展 優秀賞 ○○○○ 他佳作・入選 多数

- ・北村山子ども美術展 最高賞 ○○○○ 奨励賞 ○○○○ 他入選3名
- ・全国中学生人権作文コンテスト山形県大会 山形地区奨励賞 ○○○○
- ・読書感想画コンクール北村山地区大会 入選 ○○○○ ○○○○
- ・いじめ・非行をなくそうやまがた県民運動「いじめ防止」標語 優秀賞 ○○○○



運動面・全国中学校スキー大会（長野県）男子スペシャルジャンプ競技出場 ○○○○

（飛距離 35m 合計点 93 点 ○○さんは東北大会にも出場しました。）

- ・村山市中学校新春バレーボール大会Cブロック 第1位 女子バレーボール部
- ・山科杯争奪北村山地区中学校バレーボール冬季大会 第3位 女子バレーボール部
- ・西村山地区卓球選手権大会 中学女子シングルスB 第2位 ○○○○



～3月の主な行事日程～ ※4月8日(水)に令和8年度東根市立第三中学校入学式を挙行いたします。

日(曜)	主な予定	日(曜)	主な予定
4(水)	大掃除～6日	15(日)～	年度末・年度始め休業(～4/6)
7(土)	公立高校入選学力検査	17(火)	公立高校入選合格発表
9(月)	振替休業日(3/14)	20(金)	春分の日(祝日)
10(火)	同窓会入会式 全校集会	26(木)	離任式
13(金)	修了式 通知表配付 卒業式準備	4/7(火)	新任式 始業式 新入生オリエンテーション
14(土)	第64回卒業証書授与式	4/8(水)	入学式(午前に実施)